

鉄道国際規格センターの活動

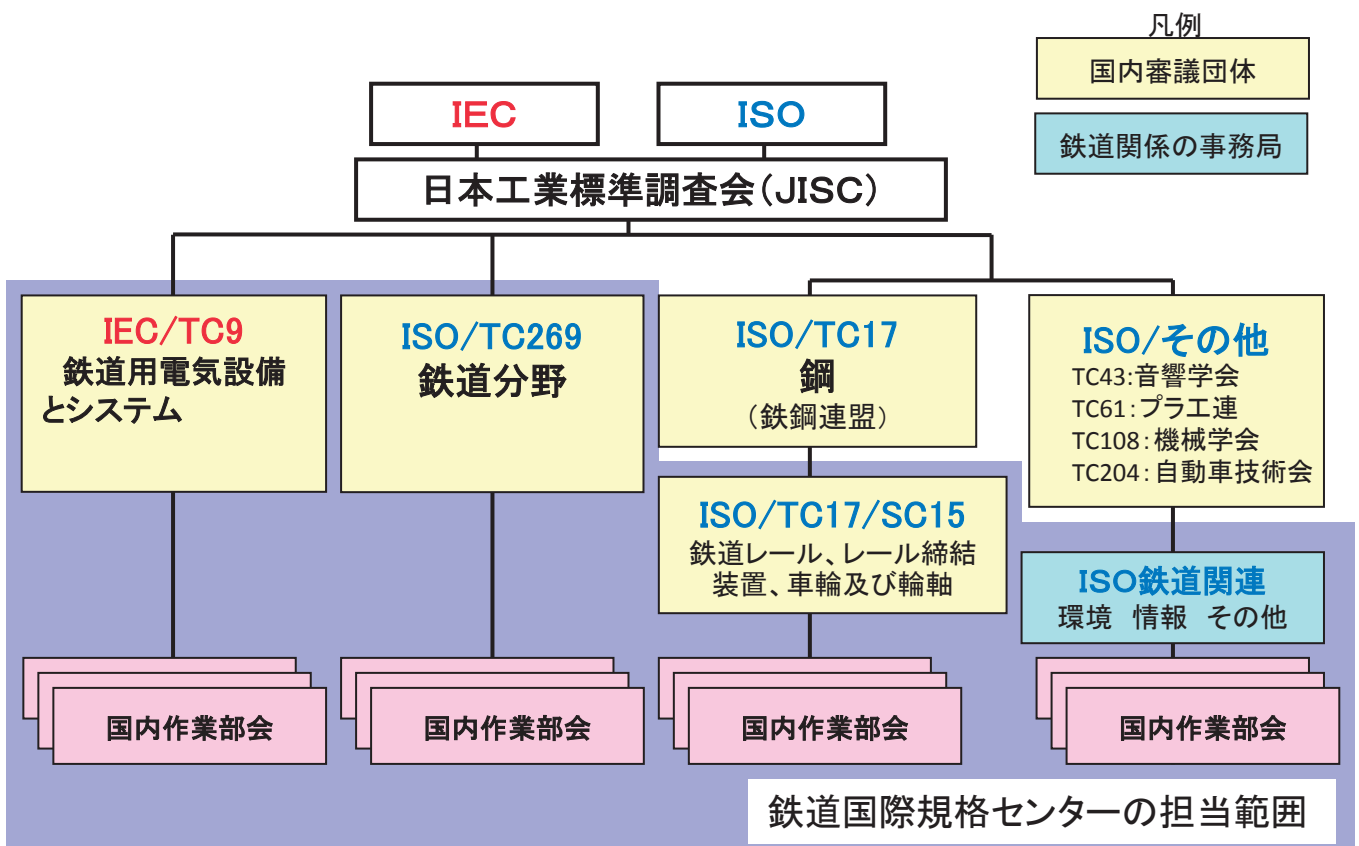
Activity of Railway International Standards Center (RISC)

【概要】

鉄道ビジネスのグローバル化が急速に進展しつつある今日、国際規格を戦略的に利用することの重要性が益々認識されてきています。新幹線に代表される日本の高速鉄道の運行や高密度都市鉄道旅客輸送を支える優れた技術を世界に広め、安全で環境負荷の小さい鉄道ネットワークを構築することは、国内の鉄道事業及び産業の発展に寄与するのみならず、多くの国々の社会生活レベルの向上や地球環境の維持にとって重要なことであります。

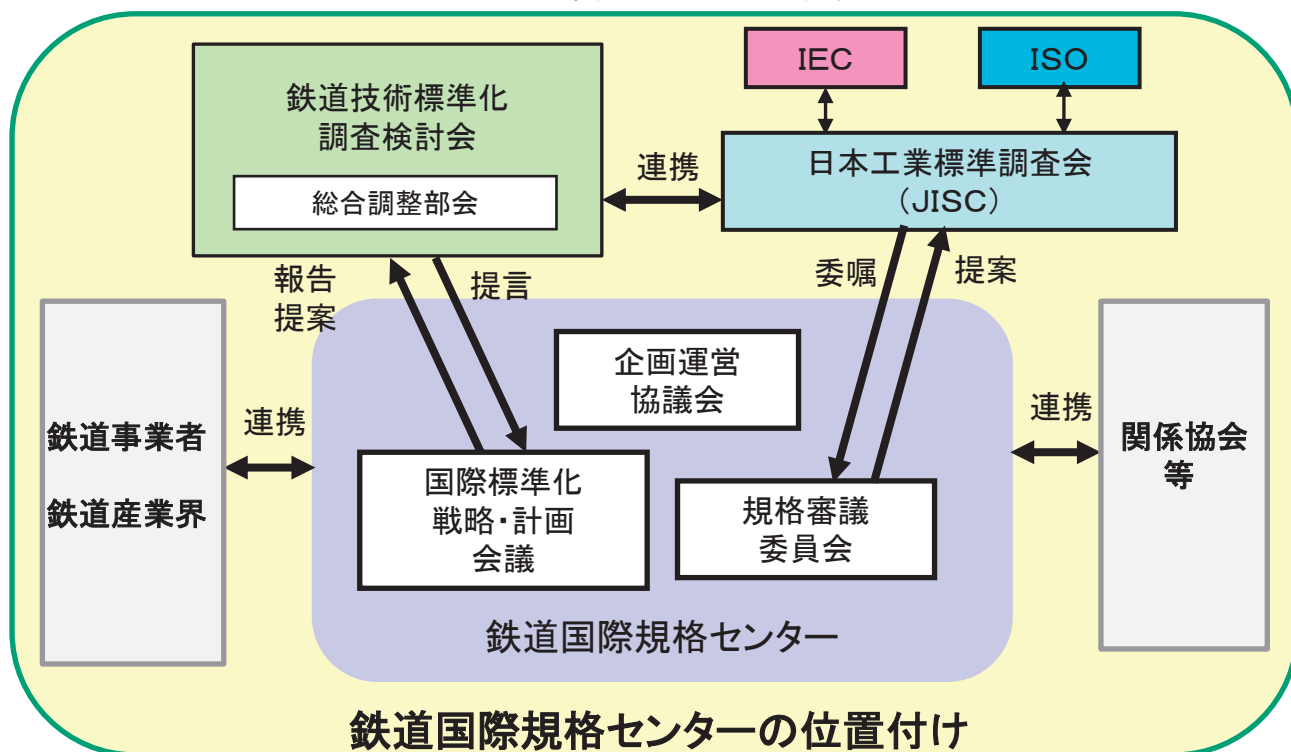
このような社会情勢の中、国土交通省主催の「鉄道技術標準化調査検討会」で示された方針に基づき、鉄道に関する国際規格の審議について、IEC国内審議団体としての活動のみならず、ISOに対する支援について一元的に対応するために平成22年4月鉄道国際規格センターが設立されました。

鉄道国際規格センターでは、「国際規格の審議・提案」、「国際標準化の戦略的検討」、「国際規格に関する情報収集と発信」等を活動の中心にしています。



【運営と組織】

鉄道国際規格センターの位置付けは次に示すとおりで、センター長のほか17名のスタッフにより運営されています。



【活動内容】

- 鉄道分野の国際規格に関する原案作成業務
- 鉄道分野に係わる国際標準化提案業務
- 鉄道分野の国際規格についてIECおよびISOの国内審議団体としての活動業務
- 鉄道分野の国際規格に関する戦略・計画検討提案業務
- 鉄道分野の国際規格の適用に向けた国内標準化に関する提案業務
- 鉄道分野の国際規格に関する情報の収集・分析及び関係者への情報の提供業務、海外への情報発信業務
- 鉄道分野の国際標準化に対する鉄道関係者の認識向上及び人材育成活動業務
- 鉄道分野の国際標準化に関する海外関係者との連携推進活動業務

公益財団法人鉄道総合技術研究所
鉄道国際規格センター